



## 「環境問題を考える会」2024年度 (第27回) 総会&記念講演を開催!

2024年7月21日(日)下野市市民活動センター研修室において、環境問題を考える会の第27回総会および記念講演を開催しました。総会では下野市環境課の若林課長からいただいた祝辞メッセージを紹介した後、前年度の活動報告と会計報告がされ、次年度の予算、世話人会役員および活動方針が提案されて、いずれも満場一致で承認されました。

続いて行われた記念講演「福島原発構内と周辺の視察報告～そして原発問題を改めて考える」では、当会の中里勝芳代表が3月に参加した福島原発構内と周辺地区の視察結果を報告し、それを踏まえて原発問題にどう向き合うべきかを解説しました。老朽化した東海第二原発に近い栃木県も人ごとではありません。講演後には参加者による活発な意見交換も行われました。また、今回は市内で俳句教室を主宰されている北林令子さんとグループの皆さんの特別参加があり、原発問題をテーマとした俳句を多数紹介していただきました。

以下、総会と記念講演の状況を写真で紹介します。



総会開会の挨拶をする中里代表



若林環境課長の祝辞を代読する平戸世話人



記念講演を行う講師の中里代表



原発問題をテーマにした俳句を紹介する北林さん





## 戦争こそは最大の環境破壊！

# 「小金井空襲慰霊祭」に参加！

戦争は最大の環境破壊であり、環境問題として再び戦争を起こさない取り組みが必要です。それには悲惨な戦争体験を語り継いで行かねばなりません。1945年7月28日、既に米軍が占領した硫黄島より飛来したP51戦闘機が宇都宮から東北線上り列車を追尾し、小金井駅周辺で機銃掃射を行いました。その結果、戦没者の慰霊を迎えるため駅に集まっていた民衆と列車の乗客が犠牲になり、31名の死者と約80名の負傷者を出す惨事になりました。

この悲惨な地域戦災を語り継ぐため、市民ボランティアによる慰霊祭が昨年も以下の通り開催されました。当日は唯一の生き証人・梁昌子さんや犠牲者の遺族の方々、坂村市長も参列され、当会からも多くの有志が参加しました。

日時 2024年7月28日（日） 9時半～12時  
場所 JR小金井駅西口 平和の礎前（右上の写真参照）  
主催 小金井空襲慰霊祭実行委員会（会長：星野平吉氏）  
備考 慰霊祭の後に講演会を実施（オアシスポップ館にて）



## 「FMゆうがお」で会の活動を紹介！

9月17日（火）地域FM局「FMゆうがお」の下野市情報番組に当会から2名の有志が生出演し、環境問題を考える会の設立経緯や活動実績を照会しました。限られた時間でしたが、パーソナリティの協力も得てイベント案内の広報もできました。以下、概要です。

日時 2024年9月17日（火）2:15～2:35（20分）  
場所 FMゆうがおスタジオ内（下野市祇園1-7）  
番組名 下野市情報番組「しもつけピタッとラジオ」  
担当パーソナリティ 加藤潤子さん  
当会出演者 中里勝芳（代表）、益友幸（事務局）  
内容 パーソナリティからの質問に答えながら、会の設立経緯、活動実績の紹介、入会案内、イベント案内等をアピール

なお、FMゆうがおには毎月第一月曜日に当会会員の加藤ますみさんが担当する「アトリエさふらん～しもつけオン・ザ・ウォーター」があります。こちらも是非ご聴取下さい。



## 「モルゲン、明日」自主上映会を開催！

宇都宮市内で毎年開催される市民パレード「さようなら原発！栃木アクション」のプレ企画として、ドキュメンタリー映画「モルゲン、明日」の自主上映会が県内各地で企画され、下野市地区では当会が10月13日（日）にこの上映会を開催しました。福島原発事故から3ヶ月後の2011年6月、ドイツは2022年までに全ての原発を廃炉にすることを決めました。一方、当事国の日本では事故の終息も見えないまま、脱原発から原発推進に方針転換しました。両国の違いはどこからくるのか、その答えを求めたのがこの映画です。以下、概要を紹介します。

日時 2024年10月13日（日）14時～16時半  
会場 下野市石橋公民館 会議室5  
上映作品「モルゲン、明日」  
企画/監督/撮影 坂田雅子  
主催 環境問題を考える会  
後援 さようなら原発！栃木アクション2024

当日の会場は約60名の参加者で満席となり、後援団体（さようなら原発！栃木アクション）を代表して一木弁護士から挨拶をいただきました。また、上映後には参加者との意見交換も行われました。



会場は大勢の参加者で満杯でした

# 「しもぷらフェスタ2024」に参加！

10月20日（日）市民活動センターまつり「しもぷらフェスタ2024」が開催され、同センターに利用登録している24の団体および個人が参加出展しました。環境を考える会もこれまで通り参加し、屋内会場にて各種展示を行いました。

当日は懸念された雨に降られることもなく、開始早々から会場には多くの市民が来場、当会の展示コーナーにも多数の来場者がありました。特に今回は指定ごみ袋制導入への市民の関心もあり、恒例のごみ分別クイズは例年以上に盛況で、会の活動アピールや地域市民との交流をはかることができました。以下、概要を紹介します。

日時 2023年10月15日（日）10時～14時

会場 下野市市民活動センター&GTコミセン

主催 市民活動センターまつり実行委員会

環境問題を考える会の出展内容

- ・パネル展示（団体紹介、活動事例紹介）
- ・参考資料展示（ごみ問題、水道水問題、原発問題、他）
- ・ごみ分別クイズ

水資源環境の展示コーナーでは、下野市の水道水（深層地下水100%）と市販のペット飲料水を飲み比べてもらう企画も好評でした。



# 「さようなら原発！ 栃木アクション2024」に参加！

福島原発事故の後、県内でも下野市議会を含む多くの市町議会が「脱原発のエネルギー政策を求める意見書」を採択し国に提出しました。しかし、いまだ3万人が避難生活を強いられる中で、多くの国民の思いに反して各地の原発が再稼働され、原子力緊急事態宣言はいまだに解除されないまま、老朽化した原発の稼働延長や原発の新增設が画策されています。

このような背景の下、全ての思想・信条・世代を越えて「脱原発」の一点で県内各地の市民が集結し、11月23日（土）に宇都宮市内をパレードしました。下野市からも当会有志を含め多くの市民が参加しました。以下、概要を紹介します。詳細は当会HPを参照下さい。

日程 2024年11月23日（土）13時～15時

集合場所 宇都宮城址公園

ゲストスピーチ 樋口英明さん（元福井地裁裁判長）

パレードコース 宇都宮城址公園～シンボルロード  
大通り～宮の橋（流れ解散）

参加者 約700名

主催 さようなら原発！ 栃木アクション

当日の会場では、大飯原発の運転を差し止めた樋口英明元裁判長のゲストスピーチがあり、「原発は人が管理し続けなければならず、暴走した時の被害はとてつもなく大きい」と警告しました。



ゲストスピーチの樋口元裁判長



**会員募集中！**「環境問題を考える会」では広く会員を募集しています。

地域の環境を大切にしたいと思う皆さん、是非ご参加下さい。

●年会費：1,000円 ●払込先：郵便口座番号 00160-1-139315

●問い合わせ先（事務局）

磯辺 ☎0285-44-6621 / 平戸 ☎0285-44-5280 / 益子 ☎0285-44-6891

E-mail : kankyomk@ja2.so-net.ne.jp

Homepage : <https://kankyomk.wordpress.com>



公式HP

公式X